
新潟県工業技術総合研究所の利用に関するアンケート

(令和3年度)

結 果 報 告 書

令和4年3月

新潟県工業技術総合研究所

目 次

I. 新潟県工業技術総合研究所の利用に関するアンケートの概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査時期	1
5. 調査内容	1
6. アンケート回収状況	1

II. 調査結果

① 利用開始時期	2
② 回答企業の業種	2
③ 回答者の職種	3
④ 事業別の満足度	3
⑤ 当研究所を利用したことによる経済効果	4
⑥ 職員の対応（接遇）や説明（わかりやすさ）に対する感想	4
⑦ 当研究所を利用した感想	4
⑧ 当研究所への要望	5
⑧-1 当研究所への要望（依頼試験・機械器具貸付について）	5
⑧-2 当研究所への要望（その他）	5
⑨ 今後当研究所が取り組んだら良いと思われる研究テーマ	5

I. 新潟県工業技術総合研究所の利用に関するアンケートの概要

1. 調査目的

新潟県工業技術総合研究所利用企業を対象に業務の目的達成度や要望等を調査した。

2. 調査対象

令和2年4月～令和3年10月までに当研究所（依頼試験、機器貸付、共同研究等）を利用した県内企業 877 事業所。

3. 調査方法

所定の Web 回答フォーム、アンケート用紙の郵送、FAX、電子メールいずれかによる回答。

4. 調査時期

令和4年1月上旬～2月中旬

5. 調査内容

- ① 利用開始時期
- ② 回答企業の業種
- ③ 回答者の職種
- ④ 事業別の満足度
- ⑤ 当研究所を利用したことによる経済効果
- ⑥ 職員の対応（接遇）職員の説明（わかりやすさ）に対する感想
- ⑦ 当研究所を利用した感想
- ⑧ 当研究所への要望
 - ⑧-1 当研究所への要望（依頼試験・機械器具貸付について）
 - ⑧-2 当研究所への要望（その他）
- ⑨ 当研究所が今後取り組んだら良いと思われる研究テーマ

6. アンケート回収状況

回答数： 307 通 （回答率 35.0%）

有効回答数： 307 通 （有効回答率 35.0%）

Ⅱ. 調査結果

① 利用開始時期

当研究所の利用開始時期をみると、「令和元年度以前から」が 87.6%と大多数である。次いで「令和2年度から」が 6.8%、「令和3年度から」は 5.5%の順となっている（図 1）。

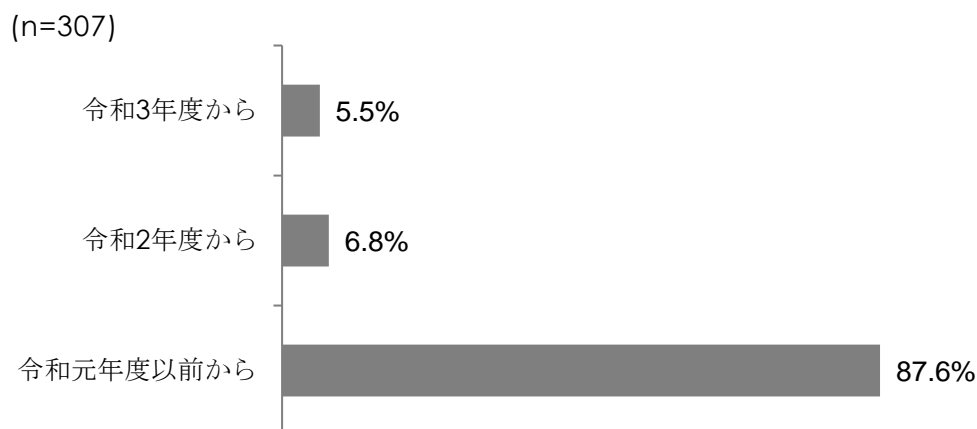


図 1 利用開始時期

② 回答企業の業種

回答企業の業種をみると、「機械・金属」が 51.1%で最も多く、以下「電気・電子」(12.4%)、「その他」(8.5%)、「卸売・小売」、「繊維」の順となっている。（図 2）。

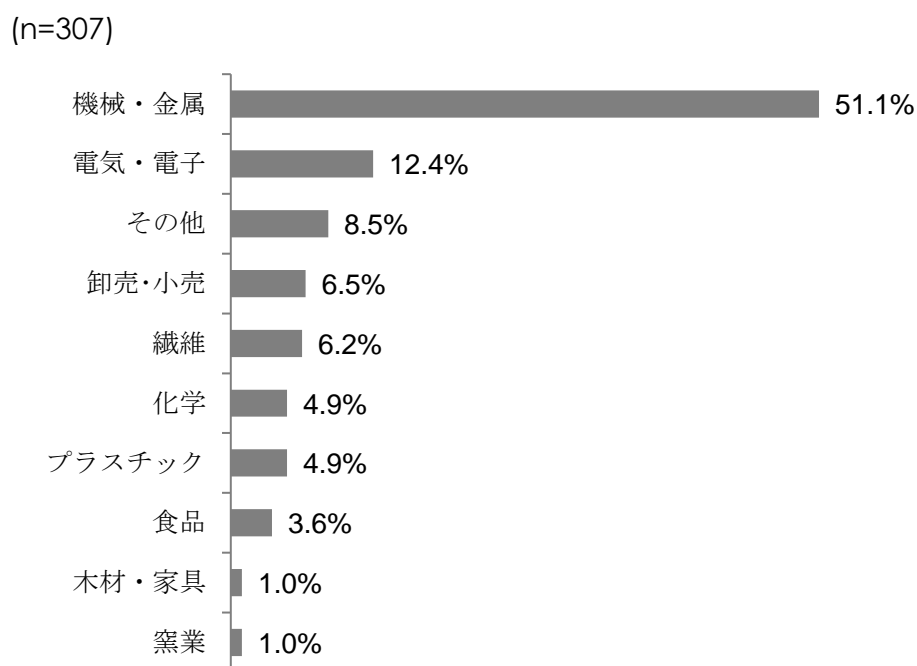


図 2 回答企業の業種

③ 回答者の職種

アンケート回答者の職種をみると、「経営者」が 24.1%、以下「品質管理・検査」(23.5%)、「研究・開発」(20.5%) の順となっている (図 3)。

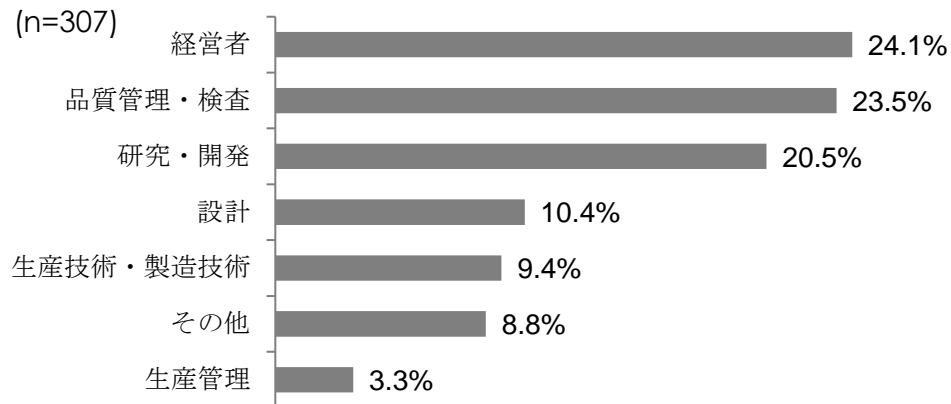


図 3 回答者の職種

④ 事業別の満足度

利用したことのある事業について感想を尋ねた。全体では 90.1%が満足・やや満足との回答であった。依頼試験、機器貸付、技術相談、企業等技術課題解決型受託研究、共同研究、大型研究プロジェクトに関しては、満足・やや満足との回答が 9 割を超えた (図 4)。

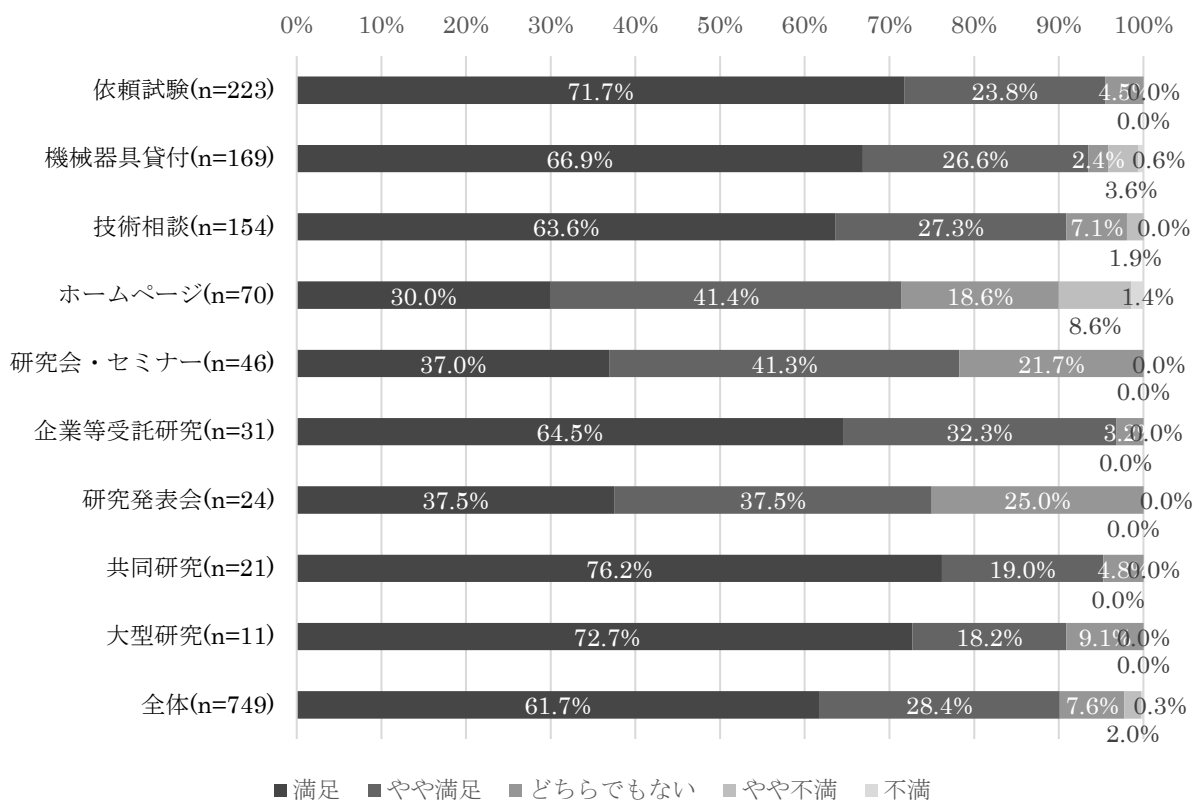


図 4 事業別の満足度

⑤ 当所を利用したことによる経済効果（結果省略）

ご利用いただいた事業ごとにその経済効果（売り上げ増加、クレーム解決による損失回避、コストダウン効果など）について、金額に換算してご回答いただきました。その結果を基に、利用企業1社あたりの経済効果額および当研究所利用企業全体の経済効果額を試算しました。

⑥ 職員の対応（接遇）や説明（わかりやすさ）に対する感想

当研究所を利用した際の職員の対応に対する感想をそれぞれ5段階で尋ねたところ、職員の対応について「満足」とする割合が79.5%、「やや満足」とする割合が16.3%となっており、95%以上の回答企業から概ね満足といった評価が得られた（図5）。

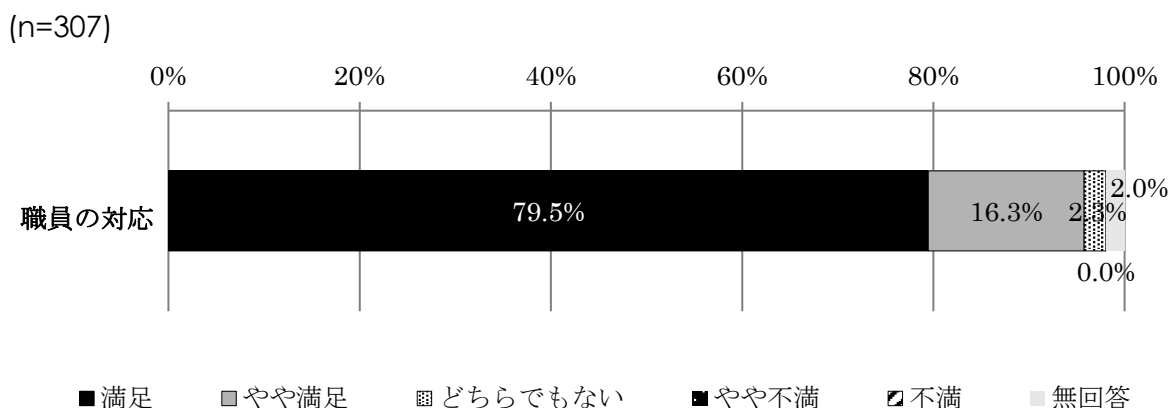


図5 職員の対応に対する感想

⑦ 当研究所を利用した感想

以下に代表的な回答を記します。

当研究所を利用した感想
依頼試験にて電気試験規格などアドバイスいただき、とても助かりました。
思っていたより色々な試験装置があり驚きました。
独自の試験方法に積極的に関わって頂き、更に良い方法を提案してもらった。
最先端の技術も大切だが、既存技術の掘り下げは直接利益に繋がるので拡充して欲しい。
依頼費用の支払いに関しては、振込させていただけると楽です。今どき証紙を貼り付けるのはどうも・・・時間がかかり抵抗があります。
機器の有無や調査、レンタルの方法、現地での使用とストレスフリーで行うことができたので有難かったです。一点、希望があるとすれば費用の支払いが銀行の窓口限定されており支払いに手間が掛かるので、振込等の他の手段もあると使いやすいです。

⑧-1 当研究所への要望（依頼試験・機械器具貸付について）

当研究所への要望（複数回答）を尋ねたところ、『依頼試験・機械器具貸付』関連では「試験項目の拡充・新規設備の導入」が41.4%で最も高く、以下「手続きの簡略化」（23.8%）、「試験機器の更新・性能向上」（21.5%）などの順となっている（図6）。

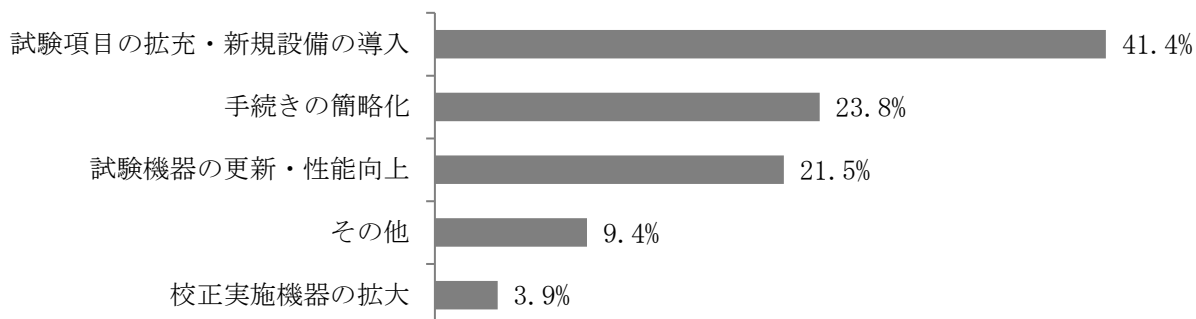


図6 当研究所への要望（依頼試験・機械器具貸付について）

⑧-2 当研究所への要望（その他）（結果省略）

⑨ 当研究所が今後取り組んだら良いと思われる研究テーマ

以下に代表的な回答を記します。

当研究所が今後取り組んだら良いと思われる研究テーマ
新潟県の生活に役に立つ IoT
再生原料の技術開発
カーボンニュートラルに関するもの
ウェアラブルデバイスに関する調査研究
環境問題からで、PFOA に替わる物の研究を行ってほしい。
高度な塑性加工技術
人工光合成、水素製造

上記設問に関するもののほか、各記入欄において多くのご意見、ご要望をいただきました。今後の業務の参考とさせていただきます。